

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

流れ雲十六夜の月隠しゆく海の辺暮れて見上げ立ちをり
 幼木に一本かかりし蜘蛛の糸西日を受けて虹色なりき
 身をけずり歌道説く人忘れまじ尊き歌人浜畑さん逝く
 運河の道薦めて学びし歌友を師とあがめしが今逝きませり
 苦しみを免れ姉はおだやかな顔に戻りて旅立ち逝きぬ
 おだやかにひと日ひと日を凌ぐべし草引き終えて心安らぐ
 空遠く永久に会へぬと肯ひつ竹に結びし短冊の揺る

岩下 ち江
 樫平 頼子
 米尾 和子
 坂之下典子
 中山タマエ
 松元 睦子
 浜田美代子

一般作品

マンゴーが連なり下がる樹は太し庭の二本に二百十
 故郷は心の中の夢の如思ひ出ずるはあの日あ的事
 盆過ぎて熊蟬の声はたと止みひと夏のドラマ静かに去りぬ
 年取ると気になる事はししない事何事なるも心配なきや
 堺駿二があらかん連れて走り来る待つてましたと拍手沸き立つ
 ふる里を思い浮かべて老る秋「俳句」

小林 貢
 小林 如月
 後藤ヨシエ
 町田 末則
 母木 良平
 宗方 正喜

明神俳句会

蛇渡る築百年の家の梁
 山百合や母に教はる林刈
 七月の風に任せり打瀬網
 鹿子百合播らして走る一輛車
 道の駅からカサブランカ横抱きに
 風鈴や生家に残る命名紙

淵脇 護
 二階堂妙子
 白男川孝仁
 大堂 早苗
 迫口 君代
 山壽加代子

風鈴や昼寝す嬰の子守歌
 特養に朝を告げたる蟬の声
 天草の風連れて来し貝風鈴
 蚊帳の中夢を見ていた幼き日
 七月や口紅うすく傘寿越す

関 佳代美
 関 喜久雄
 二階堂恵子
 大堂 正弘
 坂口 静子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



庭にほしい木と草の本

著：草木屋

庭と散歩道で出会う全51種の木と草を、楽しい利用方法と一緒に紹介します。



ぱちぱちおめでとう

作：ひろゆた

手をぱちぱちたたいて、「おめでとう」って言うみよう。何が出てくるかな？

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121